

## 資料4 令和6年度学校教育に関するアンケート〈保護者〉

### 保護者自由記述 よりよい教育活動を行うためのご提案

- いつも親身になって子供のことを考えていただきありがとうございます。先生の存在が子供にとって一つの支えとなっていると感じます。親との距離感をうめるような、時には親よりも近いところで支えていただいで感謝しています。
- ホームページの更新を毎回楽しみにしています。肱東中生みんながんばれ！という思いです。
- × 授業内容を理解していない教科がある。
- × 生徒と保護者が互いに認識しているときは挨拶できるが、誰の保護者かわかっていないときは挨拶が返ってこない。
- × 子供たちが楽しい学校生活を送れるよう、子供たちの気持ちに寄り添った教育活動をしていただけたら幸いです。
- × 以前から指摘していたタブレットの目的外使用について何とかならないか。学習以外のサイト等の閲覧に使っており、学習にはほとんど使っていない。
- × 先生から生徒への言葉遣いについて気になったことがある。
- △ アンケートに氏名欄は不要

---

### 〈アンケート結果から〉

#### ○ 学習指導

生徒の授業に対する真剣な取組、教員の授業改善により、授業内容に対する理解度が高まっている。しかし、「保護者の自由記述」にあるように、生徒個人や教科によって理解度に差があるので、個に応じた指導を強化する必要がある。また、家庭学習習慣(宿題以外の家庭学習への取組)について、自主学習ノートやタブレット端末の活用など、教員からのアドバイスを具体的にすることで、より充実させたい。

#### ○ 生徒指導

多くの生徒がより良い人間関係を築きながら学校生活を送り、自己肯定感を育むことができている。しかし、「将来の夢を持って学校生活を送る」ことについては、肯定率が低い。職場体験学習やキャリアパスポートを活用した活動を充実させ、自分の将来と向き合い、考える機会を作りたい。

#### ○ 健康・安全

生徒は、規範意識を高めながら学校生活を送ることができている。しかし、挨拶については、教職員の肯定率が低く、また、挨拶の返し方を課題と捉えている保護者もいる。時と場に応じた気持ちのよい挨拶ができるよう、指導を継続したい。スマホやゲームの安全な使用については、PTAと連携しながら指導を継続したい。

#### ○ 家庭・地域との連携

多くの生徒・保護者が心配事や悩みがある場合は学校に相談したいと考えており、生徒・保護者と学校の関係が良好であることが分かる。地域貢献については、生徒・保護者の肯定率が低下している。地域と連携した活動を充実させ、生徒は地域の一員であることを自覚し、自分から地域に貢献したいという意欲を育ませたい。

#### ○ その他

生徒の学校行事や部活動等への取組に対する意欲が高まっており、任された仕事にも責任を持って取り組むことができている。また、生徒会活動(委員会活動等)を通して、生徒の自主性が育っていると感じている保護者が多い。今後も、生徒会活動や部活動を通して、達成感や所属感を得ることができるよう工夫したい。